

寺井紗知子 議員

生活困窮者の支援に フードバンク活用を

問 食べ物に困っている潜在的な方たちへの支援方法は。

答 社会福祉協議会とともに仕組みをPRし、福祉関係者の協力を求めたり、滞納整理の際に情報提供したりしていきたい。子どもに対しては、学校とともに生活の状況を確認してしっかりと支援したい。

ペットと同行避難の マニュアル作成は

問 環境省は、災害時にペットは飼い主と一緒に避難させる事を原則として、自治体にその態勢整備を促しているが。

答 平成28年度から避難所運営マニュアルを策定し、飼い主を対象とした災害時の飼育管理講習会の開催や、実践的な訓練なども検討したい。



育苗用の培地「ロックウール」

養液栽培による 温室メロンの展望は

問 コンピューター管理による養液栽培は、時代の成長産業として期待が持てるのでは。

答 生産農家の維持や新規就農者の参入、規模拡大などに寄与する可能性は高い。栽培履歴がコンピューター管理により一層鮮明になり、国際的な販売でも有利と考えられメロン産地として期待している。

伊藤 謙一 議員

積極的な シティプロモーション施策を

問 市は平成28年度予算で本来の広報費用以外に約8000万円の予算を計上し、更なるシティプロモーション施策で本市の情報を市内外に発信する予定だが、その目的は。

答 今後、積極的なシティプロモーション施策を用いて市民には本市の魅力を再認識していただきたい。

また、情報発信することによって袋井市の認知度やイメージを向上させ、定住人口、交流人口の増加を促していきたい。今後の取り組みとして、本市のホームページやブログ、地域情報サイト「はまぞう」などの広報媒体を駆使し、民間から寄せられるイベントあるいは観光、グルメなどの多様な情報を積極的に発信し、市の認知度獲得につなげていきたい。

問 ふくろい未来大使として、各界で活躍する本市と関連性の深い著名人12人が決定した。今後、どのような形で彼らを市民に紹介し、どのようにシティプロモーションと関係性を持つていただくか。

答 未来大使の皆様には市をPRしていただき、今後、市の行事への協力をお願いしたい。直近では、東海道袋井宿開設四〇〇年記念祭に出演していただくよう調整をしていく。



「はまぞう」の袋井市ポータルサイト